

市内の緑被状況

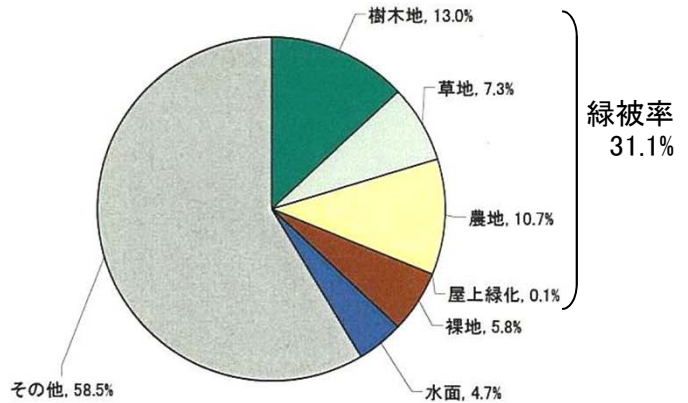
1. 緑被率調査の目的と調査結果

本調査は、航空写真から市川市の緑の状況を把握し、緑の保全・創出・普及に関する施策の基礎資料として活用することを目的とするものです。

今回の調査結果は、市川市の行政面積5,639haを対象として実施し、2009年(平成21年)8月に撮影した航空写真により抽出した緑被地の現況であり、市内の緑被面積は1,752.4ha、緑被率31.1%です。(緑被地とは、「樹木地」、「草地」、「農地」、「屋上緑化」であり、植物で被われた土地などの総称です。)

市川市全体の緑被率集計結果

土地被覆	面積(ha)	割合(%)
樹木地	732.1	13.0
草地	410.1	7.3
農地	604.4	10.7
屋上緑化	5.8	0.1
緑被地	1,752.4	31.1
裸地	326.6	5.8
水面	262.7	4.7
その他	3,297.3	58.5
市全体	5,639.0	100.0

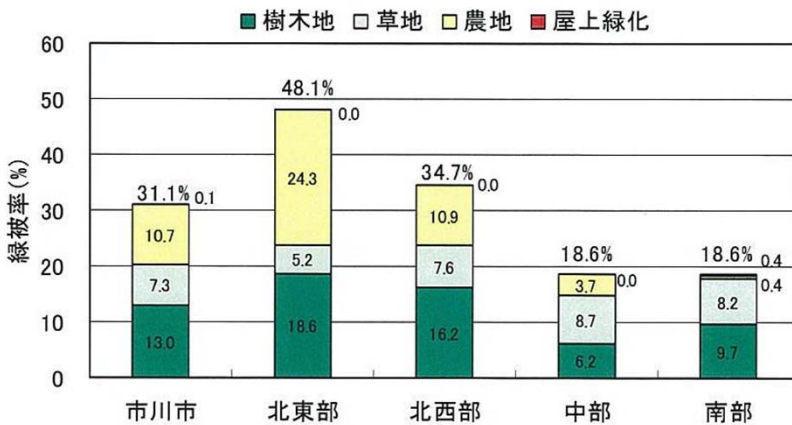


緑被率=緑被地の合計面積÷市域面積×100

2. 地域別の緑被率

地域別の緑被率を見ると、市街化調整区域が概ね半分を占める北東部が48.1%と最も高く、緑被地の中で農地(24.3%)と樹木地(18.6%)の割合が高い状況です。次いで樹木地が多い北西部の緑被率が34.7%となっています。中部と南部の緑被率は18.6%と同じであり、両地域とも江戸川河川敷があることから、草地の割合がそれぞれ8.7%、8.2%と高い状況となっています。

地域別の緑被率



地域区分(4地域)

